

Q&A

Q. 何回も検査を受けても大丈夫ですか？

A. 心配に感じる方もいらっしゃると思いますが、必要に応じて行われる検査であれば、**過度に心配する必要はありません。**

過去の検査と比較することで、病状の変化をより正確に確認できます。

Q. 将来への影響（発がんなど）はありますか？

A. 検査で受ける放射線の量は少なく、発がんなど将来への影響が明確に確認されているわけではありません。

将来の発がんなどのリスクよりも、検査を受けるメリットの方が大きいと考えられています。

Q. 妊娠中でも大丈夫ですか？

A. 胸の撮影など、お腹から離れた検査であれば、赤ちゃんへの影響はほとんどありません。

妊娠中、または妊娠の可能性がある場合は、事前にスタッフへお知らせください。

Q. 他の病院から検査だけ受けることはできますか？

A. はい、可能です。

かかりつけの医療機関を通じて、ご相談・ご予約いただくことで、当院で検査を受けられます。

不安なことや気になることがあれば、いつでもスタッフにお声かけください。

当院では、診療放射線技師などの専門スタッフが、検査についてわかりやすくご説明いたします。



また、地域の医療機関と連携し、検査のみのご相談にも対応しています。

本資料は、各省庁の公表資料や、診療放射線技師会、国際的な放射線防護の考え方（ICRP勧告）等を参考に作成しています。



放射線検査って大丈夫？

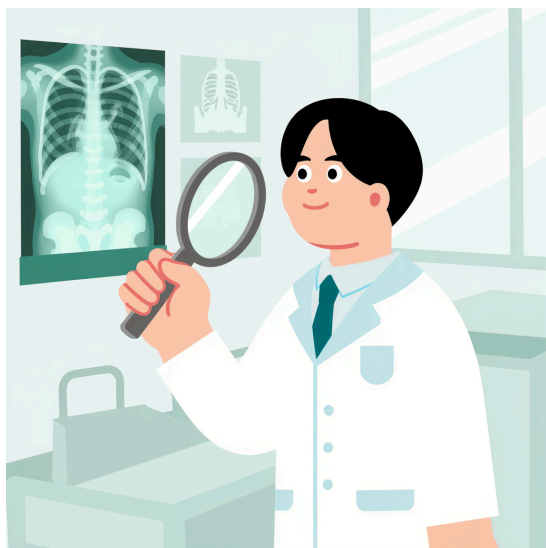
検査の放射線について、不安な方へ

愛知医科大学メディカルセンター
放射線室

安心して検査を受けていただくために

放射線検査は、病気の早期発見や治療に役立つ大切な検査です。

検査は、体への影響よりも検査で得られる**メリットが大きい**と判断された場合にのみ行われます。



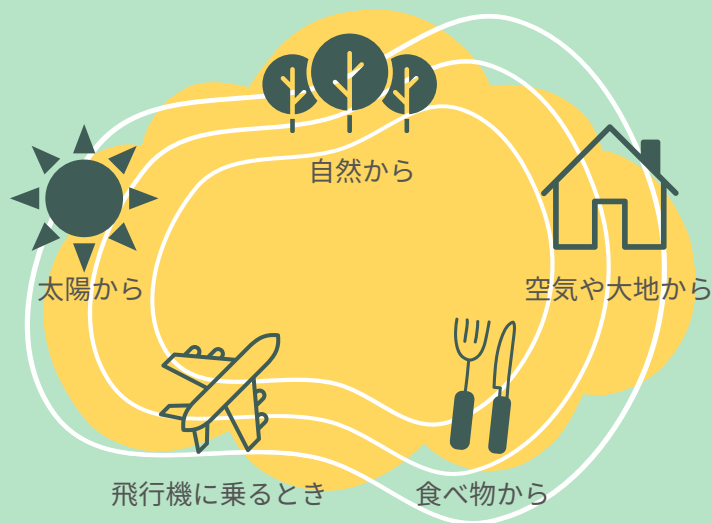
放射線検査に不安を感じる方もいらっしゃると思います。

気になることがあれば、わかりやすくご説明いたしますので、いつでもお声かけください。

身近な放射線

放射線は、特別なものではありません。

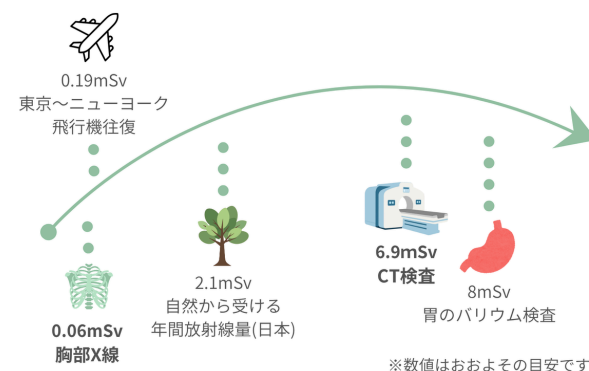
私たちは普段の生活の中でも、宇宙や大地、空気や食べ物などから、自然に放射線を受けています。



日本では、1年間に平均で約2.1ミリシーベルトの放射線を受けながら生活しています。

検査での放射線量

医療で使う放射線の量は、検査の種類や部位によって異なります。



より詳しく調べる検査ほど放射線の量は多くなりますが、その分、**病気の早期発見や正確な診断**につながる大きなメリットがあります。

なお、検査で受ける放射線の量は極めて少なく、日常生活の中で受ける放射線と比べても十分に低いレベルであり、将来への明確な影響は確認されていません。

当院では専門的な放射線管理のもと、検査に必要な範囲だけ、できるだけ少ない放射線の量で撮影を行うよう装置の管理と工夫をしています。